

令和6年度 学校関係者評価及び改善策

(中間 最終)

郷原中学校区 校番 6 学校名 郷原小学校

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A5	○大きな目的をもちながら、大事なポイントをおさえた目標設定とを感じる。 ○基礎学力の定着という大きな課題を「算数科図形領域」にしぼられた取組に拍手を送りたい。ワークテストの結果にも数値として成果が見え、先生方の自信や成就感につながったと思います。
目標達成のための方策の適切さ	A5	○具体的で的確である中に、目に見えない細やかな努力を要する素晴らしい方策である。 ○めあてを明示した板書や授業の振り返りに至るまでのノート指導を日々丁寧に繰り返されてきたことなど、全学年で取り組まれたことが素晴らしいと思います。
自己評価の結果の分析の適切さ	A5	○数値の上昇では表せない更に大きな達成内容もあれば、逆に課題を見つけることもできるが、間違いなく先生方は、ご努力されている。 ●「否定的回答をした児童」が固定化していることをつらく感じます。自己肯定感が低い子ども一人一人への言葉かけや対応を見直していきたい。
今後の改善策(案)の適切さ	A5	○より深克的確なものであり、次へのステップへ、先生方も子ども達もつながっていけると感じ、期待する。 ●日々子どもとふれあう中で、個々の思いを目と耳と心でつかんでいただきたい。言うまでもないことですが、アンケートは補佐的なものだと思います。
その他		○目標、指標を設定し、目標達成の方策を立て、それに対する評価・結果・分析さらに今後の改善策等、先生方の多大なご努力、ご苦労があったことと思います。 ○良きチームの郷原小学校の先生方は、子ども達の成長を想い続け、先生方ご自身が日々研鑽を重ねられ、子ども達へ反映されている。 ○タブレットの活用と体験により感覚を働かせ研ぎ澄ませることを共有し合う場を大切にしていきたい。 ○どの学級も落ち着いて真面目に楽しそうに授業に取り組んでいました。全体的にA評価が多いということは、教職員が一丸となり取組を進めているからだと思います。授業では、「めあて」「まとめ」「ふりかえり」といった授業の流れ、導入の工夫や視聴覚教材の適切な活用等が見受けられ感心致しました。 ○改善策をしっかりと立てられており、計画的に目標達成に近づいていると思います。 ○子ども達の実態に合わせ、授業を工夫されていました。教室の掲示物は、クラスによって違いはありましたが、いろいろ工夫されていて、教室がとても明るかったです。 ●登校時、子ども達の横断歩道のわたり方が危険なときがあるので、車との接触事故等万一の有事を心配しています。

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	・中学校との連携を図りながら、次年度の「学校評価」の目標や方策等を決定し、全教職員の理解を深め、チームで動けるようにする。 ・基礎基本の定着、表現力の向上を目指し、今年度の重点である「導入」「発問」「関わり」「振り返り」の工夫、補充学習の充実を図ることを継続実施し、研修等を通して、教職員の授業力も高めていく。 ・日常的に子どもの所作や言動を価値付けたり、郷原のよさや魅力に気付かせたりすることを通して、自尊感情の醸成を図る。 ・「健やかな体」の育成については、「体力づくり推進計画」や「学校安全計画」を確実に作成し、体力の向上や「自分の命は自分で守る」児童を育ていくとともに、交通安全等の働きかけは日常的に行う。 ・今後も、個の実態や状況に寄り添った声かけや働きかけをチームで充実させ、子供たちの居場所づくりに努めていく。 ・業務改善においては、「何でも聞ける」「何でも相談できる」風土の醸成、スクラップアンドビルドの取組を進める。
--------------------	--